

アスベスト(石綿)調査はお済みですか？

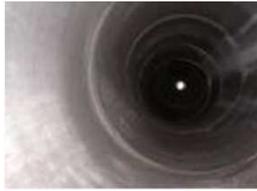
専門技術者がアスベスト調査をお手伝いします

アスベストは、耐火性、耐熱性、防音性などに優れているため、多くの建築材料として使用されてきました。しかし重篤な健康被害が社会問題になっており、アスベストの暴露を防止するため、アスベストの飛散防止対策が強化されています。

石綿が使用されている建材の例



石綿含有吹付け材



煙突用石綿断熱材



石綿含有スレート波板



配管に使用された保温材



ボイラー全体を覆う保温材



石綿含有ロックウール
吸音天井版

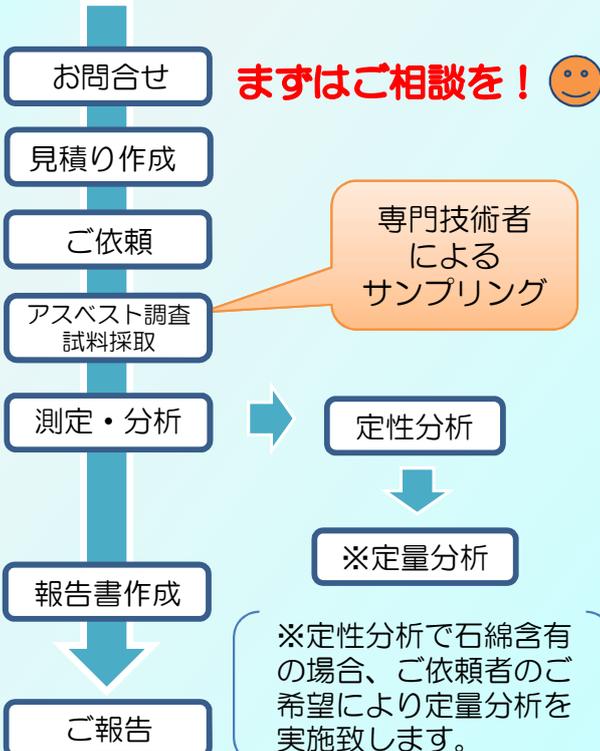
これらは、ほんの一例です。普段は飛散性の無い石綿含有形成版(レベル3)は、解体時には飛散する恐れがあるので注意が必要です。

建材中から分取し、クリソタイル、クロシドライト、アモサイト、アンソフィライト、トレモライト、アクチノライトの**6種類**の分析を行います。

出典：「建築物石綿含有建材調査マニュアル」、「目で見えるアスベスト建材」国土交通省

アスベスト(石綿)調査とは

ご報告までの流れ



■ 建築物の事前調査 ※解体・改修前には必須です。

- ①第1スクリーニング(図面調査):設計図により建材の確認をします
- ②第2スクリーニング(現場調査):建材を目視で確認します
- ③分析調査:目視で不明なものは採取し、6種類の分析をします

■ 建材中のアスベスト調査

定性分析(JIS法)で非含有の場合は、0.1%未満と判断されます。また、定性分析で含有となった場合は、0.1%以上と判断され、含有率が必要な場合は定量分析を行います。

■ 大気中のアスベスト調査

環境大気中、解体作業中の屋内及び屋外の大気中、屋内及び屋外のモニタリング等、目的に応じた調査を行います。

- お問合せ先● 専門技術者:石綿含有建材調査者
作業環境測定士 ほか

AK 公益社団法人 長崎県食品衛生協会
環境科学試験所

〒851-2129

長崎県西彼杵郡長与町齊藤郷1006-10

TEL: 095-814-5757 FAX: 095-814-5788

アスベスト含有建材と製造時期

建設業労働災害防止協会「建築物の解体等工事における石綿粉じんばく露防止マニュアル」、
社団法人日本石綿協会「既存建築物における石綿使用の事前診断監視指針」(社)建築業協会による調査をもとに作成

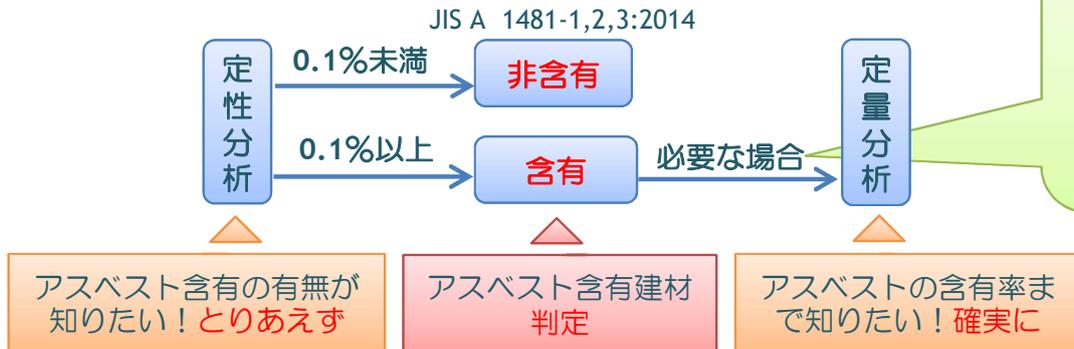
	石綿障害予防規則区分	種類・(施工部位)	建材の種類(商品名・JIS規格)	製造時期	
飛散性(特別管理産業廃棄物「塵石綿等」)	吹付け材 レベル1 (著しく発じんしやすい製品)	吹付け材	吹付け石綿(全商品)	~1975	
			石綿含有吹付けロックウール(乾式・半湿式)	~1987	
			湿式石綿含有吹付け材	~1989	
			石綿含有パーライト吹付け	~1989	
			石綿含有パーミキュライト吹付け	~1988	
	保温材等 レベル2 (発じんしやすい製品)	耐火被覆材 (S造の梁・柱等)	断熱材	石綿含有耐火被覆板	~1978
				石綿含有珪酸カルシウム板第2種	~1999
		保温材 (配管エルボ、ボイラー等)	保温材	屋根用折版石綿断熱材	~1989
				煙突石綿断熱材	~2004
				石綿保温材(旧JIS A 9502)	1914~1980
けいそう土保温材(旧JIS A 9503)				~1980	
パーライト保温材(旧JIS A 9512)				1961~1980	
石綿珪酸カルシウム保温材(旧JIS A 9510)				1951~1980	
水練り保温材				~1988	
非飛散性(石綿含有産業廃棄物)				その他石綿含有建材(成形板等) レベル3 (発じん性の比較的低い製品)	内装材 (壁、天井)
	珪酸カルシウム板第1種	~1997			
	パルプセメント板	~2004			
	スラグ石膏板	~2004			
	押出成形品	~2004			
	耐火間仕切り	床材	石綿含有岩綿吸音板		1964~1987
			石綿含有石膏ボード		1970~1986
			珪酸カルシウム板第1種		1960~2004
			ビニル床タイル		~1987
			フロア材		~1990
	外装材 (外壁、軒天)	外装材	押出成形品	~2004	
			窯業系サイディング	~2004	
			スラグ石膏板	~2004	
			パルプセメント板	~2004	
			押出成形セメント板	~2004	
			スレートボード(全商品)	~2004	
			スレート波板(全商品)	~2004	
			珪酸カルシウム板第1種	1960~2004	
			屋根材	住宅化粧用スレート	~2004
			煙突材	石綿セメント円筒	~2004

吹付け材(レベル1)の分析・除去には、補助を受けられる可能性があります。

これだけではありません!! 身の回りの色んなところに使用されています!!

出典：「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱い」建設副産物リサイクル広報推進会議

建材中のアスベスト分析は



アスベストの飛散や暴露を確実に防ぐために、定量分析まで行う事をお勧めします。

専門技術者によるサンプリング



環境大気採取風景



吹付け材採取風景



煙突用断熱材採取風景



内装材採取風景

お気軽にお問合せください。